

21475/23



DISTRIBUIÇÃO GRATUITA N.º 91

- HOJE -



岡田 まり子  
桑野 みゆき

佐田 啓二  
山本 豊三

**「離愁」**  
O Amor que renequei  
若く美しい人妻の背信と、その姪の思春の惑い！  
女の思慕と美しい争いを描く抒情篇！  
井上靖の原作「青衣の人」を大庭秀雄監督が柳井隆雄との共同シナリオにより映画化。「激しい恋愛は必ずしも恋愛の自由の中にあるとは限らない。絶望の上に成立した美しい恋を描いてみたい」というのが製作意図である



くすり化粧品は安くしんせつで、  
ていねいなフジイ薬局  
DROGAS E PERFUMARIA  
聖市カンタレイラ街 149 (中央市場横角)  
電話 32-7274

**フジイ薬局**

BRILHANTINA - MODAN

# モダンポマード

- BREVE -

Guerra e Humanidade 3.º e 4.º capitulo

脚色 松山善三  
監督 小林正樹

## 人間の條件

来る四月封切予定！

日伯人間に好評を博した第一部・二部に続いて三部・四部は召集された梶の軍隊生活が中心となっているので女優群の参加は乏しいが約二カ月の北海道ロケ総製作費二億七千六百万円という大作にふさわしい膨大な日数と巨費を投じている。

第三部 望郷篇  
第四部 戦雲篇



仲代達矢、新珠三千代、佐田啓二

Acompanha Complemento Nacional



**新発売!!**  
スーパールッショ号!

貴女の美しい夢を  
あなただけに  
つづけて

**不二式自動縫物機**

サービスステーションで年中無休、無償で講習会を開催しております

Maquinas Tricot P. G. Y. Ltda.  
RUA GALVÃO BUENO, 65 S. PAULO TEL. 35.26.04

合資会社 不二式



— BREVE —

# Jovens de Kyoto

女を描いては当代随一の吉村公三郎が、「偽れる盛装」  
「夜の河」につく京都ものとして十一年ぶりに松竹でメ  
ガホンを握る快心作！



岡田まり子、乙羽 信子、佐田 啓二  
河内 桃子、中村鴈治郎、高千穂ひづる

## 女の坂

京に生きる女の哀歌が全女性の感動をさそう！



傳説、あるいは民話風に  
当時の農民を浮き彫りし  
たもので武田氏に恩義を  
感じているもの、恨みを  
抱いているもの、戦争好  
きもの、戦争嫌いのもの  
、それらの違いはあ  
つても結局はいずれも裏

切られて死んで行くとい  
つた悲惨な物語である。  
主演は高峰秀子、田村高  
廣、他に小林トシ子、織  
田政雄、加藤嘉、井川邦  
子、川津祐介など。五月  
ごろ当館上映。  
カットは「笛吹川」

御食事・御宴会には……

あらゆる設備の完備した

自慢の 上海飯店  
中華料理

を御利用下さい

SHANGHAI

Rua Conde do Pinhal, 74 São Paulo

### Dr. Kitiro Kumagai

MEDICO

外科・内科・婦人科

医学士 熊谷 吉郎

診察日＝月・火・木・金曜日＝午後三時より  
六時半まで、急病の場合は……  
……電話七〇・五七二（自宅）  
聖市コンセレイロ・フルタード街九三番  
二階＝八・九号室（羽瀨商会筋向い）

## Programa de Hoje

de 27 de Março a 2 de Abril de 1961

Das 14 hs. Domingos e Feriados  
das 12 hs. sessões corridas  
• Complemento Nacional

§ TRAILER  
Usurpadores sem escrúpulos  
§ DRAMA O Amor que Reneguel

休憩時間中、演奏されるレコードは  
コロムビア・キング・カリフォルニア  
ア・レコードであります。

松竹作品  
離愁

三月二十七日より四月二日まで  
毎日十二時より上映しております  
◆予告篇  
敵は本能寺にあり  
眼の壁、女の坂、天龍湯

## 離愁

初夏の陽に輝やく琵琶湖  
その湖面を滑る遊覧船で  
道介（佐田啓二）は一人の若い娘の何か異様な感じにふと目をとめた。やがて客が竹生島を見物に上陸したとき、その娘はジツと崖縁から湖面をのぞきこんでいた。道介は思わず声をかけた。境道介はこうして木谷れい子（桑野みゆき）と知りあつた。云つてみれば、この若い美しい娘の生命を守ること、一種の誘惑を感じ、その夜、れい子をつれた道介は、同じ陶工の友人山口（永井智雄）の家にひとまず落ちついた。翌朝、れい子の知らせで東京から迎えに駆けつけた彼女の叔母三浦晚子（岡田まり子）の顔を見て、道介は

あつと息をのんだ。二人は旧知の仲だつた。二人の過去をきいて、れい子は驚いた。琵琶湖での彼女の自殺未遂の件も実は婚約者の八田（山本豊三）が机の上に腕子の写真を飾つていたことに烈しいシロツクをうけたの出来事だつた。やがて、れい子は郊外の道介の家に屢々現われるようになった。道介の妻は胸を悪くして信州の実家に帰る。道介は身の廻りを世話するおぼさん（櫻むつ子）とさびしく暮らしていた。そんな道介の家に若いれい子が現われると、殺風景なアトリエがはなやいで見えた。清高がフランスへ発つて三か月、晩子は三浦家の家族の者と軽井沢の別